

単元名 文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 原因と結果など情報と情報との関係について理解するとともに、思考に関わる語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。
- (2) 事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握するとともに、理解したことに基づいて、自分の考えをまとめたり広げたりすることができる。
- (3) 文章全体の構成を捉えて要約し、筆者の考えに対する自分の考えを発表しようとする。

標準的な展開例

05010109_001

【教材名】見立てる／言葉の意味が分かること／原因と結果

(P. 45～P. 57)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 学習の見通しをもつ。</p> <p>★文章の要旨を捉え、自分の考えを発表しよう。</p> <p>○学習の見通しをもち、学習計画を立てる。</p> <p>○「見立てる」を読み、自分の考えを伝え合う。</p> <p>○「言葉の意味が分かること」を読み、感想を書く。</p> <p>3 文章の構成や内容を確認し、要旨をまとめる。</p> <p>○各段落を簡単にまとめ、「初め」「中」「終わり」に分ける。</p> <p>○文章の構成や内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章構成や事例の挙げ方 原因と結果の関係 事例と筆者の考えの結び付き <p>○要旨を150字以内でまとめる。</p> <p>4 筆者の考えや事例の示し方に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>○筆者の考えや、考えを分かりやすく伝える表現の工夫をまとめる。</p> <p>○自分の考えをまとめる。</p> <p>5 自分の考えを伝え合う。</p> <p>○グループで自分の考えを伝え合う。</p> <p>6～7 原因と結果の関係を捉え、学習の振り返りをする。</p> <p>○教科書(P. 57)を読み、原因と結果の結び付きを捉える。</p> <p>○原因と結果に着目して話す。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書(P. 45)の題名やリード文から、これから学習する文章についてのイメージをもたせる。 事例や段落構成に着目させて、筆者の考えを捉えさせる。 教科書(P. 54)「内容を整理した例」を参考にして、書いてあることや大事な語や文をまとめさせる。 「初め」と「終わり」に着目させ、筆者の考えを捉えさせる。 教科書(P. 56)「要旨のまとめ方」を参考に、要旨をまとめさせる。 【評】要旨をまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 第二段落から第四段落がどのような役割をしているのか考えさせる。 第五段落以降の二つの事例の内容と示し方を考えさせ、「原因」と「結果」という関係で整理させる。 【評】考えを伝える表現の工夫をまとめる活動を通して、情報と情報との関係について理解する「知識・技能」を評価する。 教科書(P. 55)「自分の考えをまとめるときには」で、自分の考えをまとめるときの視点を押さえる。 【評】自分の考えについてまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 教科書(P. 55)「発表の例」を参考に、筆者の考えに触れながら話をさせる。 【評】考えを伝え合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 教科書(P. 57)下段の例文を参考にして、原因と結果の順番が逆になることもあることに触れる。 身の回りの出来事や、見たり聞いたりしたことを想起させ、内容を考えさせる。 【評】原因と結果に着目して話す活動を通して情報と情報との関係について理解する「知識・技能」を評価する。 教科書(P. 55)「ふりかえろう」で学習を振り返るとともに、教科書(P. 56)「たいせつ」や「いかそう」で身に付けた力を押さえる。 教科書(P. 56)「この本、読もう」を参考にして、他の本に読み広げさせる。

【 備 考 】